

新公立病院改革プランの点検・評価の概要  
(令和2年度実績)

団体名	平内町								
プランの名称	平内町国民健康保険平内中央病院								
策定日	平成 29 年		3 月		15 日				
対象期間	平成 28 年度		～		令和 2 年度				
病院の現状	病院名	平内町国民健康保険平内中央病院		現在の経営形態		公営企業法全部適用			
	所在地	平内町大字小湊字外ノ沢1番地1							
	令和元年度当初の許可病床数 (平成31年4月1日現在)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計	
		一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
令和元年度中の許可病床数の変更状況 (変更なし)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計		
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること		
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	青森地域医療圏における後方支援病院として、地域医療構想に先駆けて回復期・慢性期へ病床転換を図ってきました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少もありましたが、「かぜ症状外来」の開設により、通常診療との空間分離を行い、安心・安全な診療体制を確保するとともに、新たに「糖尿病外来」を週一回開設し、診療体制を強化しました。 これまでどおりの在宅復帰に向けた医療の継続と在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ）の強化・充実を図る一方で、終末期における緩和ケアによる看取りも併せて行う医療施設として、保健・医療・福祉・介護施策において重要な役割を担っています。特に訪問リハビリは年々増加傾向であり、地域のニーズにも対応しております。今後も地域医療構想を踏まえ、病院機能の維持・充実を図り、青森地域医療圏での役割分担を推進していきます。							
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	住民が住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、後方連携による在宅復帰を支援するため、ケアマネージャーをはじめ介護・福祉施設、町担当課等との連携を図り、地域包括ケアシステムの一翼を担い推進しております。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、訪問栄養指導は、地域のニーズにも対応し実績件数を伸ばすことができました。訪問看護ステーションの設置については、令和元年度に町担当課等との協議・検討を進めて参りましたが、現段階では設置に向けての具体的な段階には至っていない状況です。							
	③ 一般会計負担の考え方	令和2年度も総務省通知の「地方公営企業繰出金について」で示されている繰出基準をもとに算出し、財政担当課と協議・決定し繰り入れたところです。なお、令和2年度は新型コロナウイルスに関連する国地方創生臨時交付金を財源としてコロナ対策用経費として一般会計より(53,323千円)繰入しておりますが、通常分については、会計年度任用職員分として約27,000千円の分が主な増額要因となりました。原則として経営努力により基準外繰入を行わない方針ではありますが、医療職従事者分の修学資金貸付分として1,800千円の基準外繰入を行ったことにより前年比36,666千円増額となりました。							
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	上段:目標、中段:実績、下段:達成度							
1)医療機能・医療品質に係るもの	救急患者数(人)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	備考
		1170	922	900	927	955	984	1014	
	手術件数(件)			788	705	753	772	565	
		934	862	87.6%	76.1%	78.8%	78.5%	55.7%	
	在宅復帰率(%)			700	721	743	766	789	
		93	93	781	646	693	539	415	
	訪問診療・看護・リハ			111.6%	89.6%	93.3%	70.4%	52.6%	
		58	222	401	587	841	838	1350	
	紹介率(%)			380	392	404	417	430	
		17	21	22	23	24	26.9	31.3	
逆紹介率(%)			105.5%	149.7%	208.2%	201.0%	314.0%		
	20	22	26	25	25	25	25		
2)その他			19	22	25	28	31		
	26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度		
健康・医療相談件数			115.8%	104.5%	96.0%	96.1%	101.0%		
	2,688	3,336	4,000	4,400	4,600	4,800	4,900		
⑤ 住民の理解のための取組			100.0%	108.0%	100.0%	133.2%	126.4%		
			100.0%	107.6%	178.0%	140.0%	100.7%		
⑤ 住民の理解のための取組		病院専用のホームページで迅速な情報更新と共に、これまで以上に分かりやすい内容となるよう改善してきました。また、町広報誌には「平内中央病院NEWS」のコーナーを開設しているほか「平内中央病院栄養ニュース」を独自発行し、定期情報発信に努め、地域に親しまれる病院を目指して参りました。							

(2) 経営の効率化

① 経営指標に係る数値目標		上段:目標、中段:実績、下段:達成度							
1)収支改善に係るもの		26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	備考
経常収支比率(%)				105.0	102.9	103.9	105.2	105.2	
		91.8	100.5	104.0	104.9	102.8	102.9	103.4	
				99.0%	101.9%	98.9%	97.8%	98.3%	
医業収支比率(%)				82.9	86.2	86.8	88.2	88.2	
		74.3	84.1	85.5	89.5	88.3	87.1	84.3	
				103.1%	103.8%	101.7%	98.8%	95.6%	
累積欠損金比率(%)				139.4	126.0	120.4	112.6	106.5	
		167.4	140.3	136.7	120.7	116.2	112.5	105.7	
				98.1%	95.8%	96.5%	99.9%	99.2%	
2)経費削減に係るもの		26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	備考
後発医薬品使用割合(%)				70.0	75.0	78.0	80.0	80.0	
		29.7	42.5	77.0	76.9	78.6	80.4	85.1	
				110.0%	102.5%	100.8%	100.5%	106.4%	
医業収益に対する材料費の割合(%)				10.8	10.9	10.9	10.7	10.7	
		13.1	11.4	10.6	10.1	9.6	9.5	10.0	
				98.1%	92.7%	88.1%	88.8%	93.5%	
3)収入確保に係るもの		26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	備考
病床利用率(%)				84.0	87.4	88.2	89.1	89.1	
		74.2	83.9	86.0	91.0	85.6	83.7	81.9	
				102.4%	104.1%	97.1%	93.9%	91.9%	
患者1人1日当たり診療収入(一般病床)				34,697	34,074	34,074	34,200	34,300	
		28,687	33,325	34,758	35,356	37,958	36,811	37,177	
				100.2%	103.8%	111.4%	107.6%	108.4%	
" (地域包括ケア病床)				30,629	30,519	30,519	30,700	30,900	
		28,077	30,460	30,731	31,037	32,982	33,443	33,789	
				100.3%	101.7%	108.1%	108.9%	109.3%	
" (療養病床)				21,820	21,404	21,404	22,000	22,000	
		20,770	20,976	21,730	21,213	20,979	21,532	22,620	
				99.6%	99.1%	98.0%	97.9%	102.8%	
4)経営の安定性に係るもの		26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	備考
企業債残高(千円)				1,616,968	1,431,030	1,244,073	1,051,613	864,033	
		1,888,077	1,791,443	1,645,068	1,484,229	1,381,347	1,212,288	1,004,634	
				101.7%	103.7%	111.0%	115.3%	116.3%	
② 目標達成に向けた具体的な取組		計画			実績				
民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師確保推進のためのインセンティブ手当の導入(検討)</li> <li>・医師事務作業補助員の配置(検討)</li> <li>・オーダーリングシステム導入による診療業務の負担軽減(検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度にインセンティブ手当を導入済みです。</li> <li>・令和6年4月から始まる「医師の働き方改革」の方策として、タスクシフトを院内で検討しておりますが、医師事務作業補助員の配置については、人材確保の観点や作業内容の調整もあり、実現には至っておりません。</li> <li>・平成30年度に電子カルテを導入後、各部署での情報共有がスムーズにされることで、導入前よりも診療業務の負担軽減につながっている。</li> </ul>							
事業規模・事業形態の見直し	令和2年度計画なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改革プランの終了年度である令和2年度末に地域医療構想も踏まえた事業規模等を検討することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症対応による病床確保等の課題もあることから、国の動向も踏まえて検討することとするため、当面の計画はありません。</li> </ul>							
経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門における原価計算の導入(検討)</li> <li>・民間病院とのベンチマーキングによる委託内容等の見直し</li> <li>・院内照明機器のLED化(検討)</li> <li>・空調熱源機器の運転形態の見直し(検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、各部門ごとに原価計算し院内のグループウェアを通じて職員へ周知しています。</li> <li>・平成30年度に患者送迎バスと町民バスの見直しにより、利便性を低下させず経費を削減することができました。今後も委託内容等の見直しを継続します。</li> <li>・令和元年度に使用頻度の高い一部の照明をLED化し、電力の使用量、使用料金を圧縮しました。</li> <li>・ボイラー機器更新時に合わせ、委託業者との勤務形態の協議を継続実施することしました。</li> </ul>							
収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来化学療法への取組(検討)</li> <li>・院内連携によるベッドコントロールの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の準備が整わないことから今後の検討課題です。</li> <li>・連携室において病床管理基準を改定し、前方連携、後方連携システムを強化しました。収入確保に向け、ベッドコントロールやその他情報共有等を目的に、連携室を中心として他職種によるミーティングを毎朝実施しております。</li> </ul>							
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度の本格実施</li> <li>・事務職員の独自採用</li> <li>・病院ボランティアの導入(検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価は実施済みですが、職能要件を見直しながら今後も精度向上を図ります。</li> <li>・病院事務職員のプロパー化を図る目的で平成30年に情報管理、医事における職員を各1名、病院で直接採用しました。</li> <li>・ボランティアについては、屋外での作業も含めて、感染症対策等のリスクを考慮し継続検討課題です。</li> </ul>							

<p>(3) 再編・ネットワーク化</p>	<p>再編・ネットワーク化に向けた取組</p>	<p>再編・ネットワーク化については、地域医療構想の動向を踏まえた広域的な取り組みが必要であり、個々の病院又は個々の自治体だけで推進できるものではありません。複数の病院等が関係する課題であるため、県の主体的な参画と積極的な取り組みなくして実施は困難なことから、具体的な取り組みは実施していません。</p>
<p>(4) 経営形態の見直し</p>	<p>経営形態の見直しに向けた取組</p>	<p>当院では、平成27年度から経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行しました。現時点では十分とはいえないまでも民間手法を取り入れ、積極的に経営改善に取り組んでいることから、計画期間中は経営状況や成果を検証する期間とし、具体的な取組は実施していません。なお、令和3年度以降についても、現段階では、具体的な見直しを実施する予定はありません。</p>
<p>総合評価</p>		<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、安心安全な医療提供体制の確保に努め、通常診療とは別に「かぜ症状外来」を新たに開設するなど大変な状況の中、黒字を維持できたことは評価できることである。一方で、患者の受診控えや人口減少による影響はあったと思うが、一部計画値をクリアできなかった項目もあった。今後の青森地域医療構想における平内中央病院の立ち位置を常に意識しながら、地域に根ざした病院として、病院運営にあたっていただきたい。また、令和3年度以降については、引き続き2年延長された本プランの目標を達成できるよう更なる経営努力を切望するものである。</p>
<p>その他特記事項</p>		